



2020年11月

- [Cisco DNA Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [今回のリリースでの新機能 \(3 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(4 ページ\)](#)
- [不具合 \(5 ページ\)](#)

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco DNA Spaces は、既存のワイヤレスに加え、Internet of Things (IoT) および Bluetooth Low Energy (BLE) インフラストラクチャを活用して、Cisco DNA Spaces に組み込まれたアプリケーションを通じて実用的な知見を提供し、ビジネスの成果を促進する強力なロケーションサービスプラットフォームです。

この知見には次のものが含まれます。

- **位置分析**：時間や位置によるロケーションデータのスライスとダイスをを行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now**：物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数（Wi-Fi に接続されているデバイスで識別）、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供するレポート。Right Now レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを1人の訪問者に属するものとしてカウントできます。
- **Business Insights**：人々がお客様の物理ロケーションに訪れる頻度と、それらのロケーションに滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。
- **影響分析**：ネットワークに接続しているユーザーの行動に対する、特定の場所でのイベント、キャンペーン、レイアウト変更の影響を測定する機能を提供します。Cisco DNA Spaces アプリケーションを使用して簡単に [Event] を作成し、次の項目に基づいてその影響を測定できます。
 - 滞留時間
 - **Before、After、During** などの特定のタイムラインでの頻度

Cisco DNA Spaces アプリケーションには、キャプティブポータル、ロケーションペルソナ、エンゲージメントなどのカスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、物理的な場所にいる顧客とリアルタイムでつながることができます。また、その他のアプリケーションとして、**Asset Tracking** アプリ、IoT サービス (BLE) を管理および設定するためのサービスマネージャ、さらにはこのデータを抽出して他のエンタープライズシステムとの関連付けまたは統合を行うためのオープン API フレームワークもあります。

Cisco DNA Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーとインテリジェンスを通じて、これらの複数のサービスを利用するための単一のダッシュボードインターフェイスを提供します。Cisco DNA Spaces を使用すると、物理的なビジネス拠点で訪問者につながり、連携することもできます。ワークスペース、小売、製造、ホスピタリティ、ヘルスケア、教育、金融サービスなど、さまざまな業界で使用されています。Cisco DNA Spaces のアセットトラッキングアプリケーションは、オンプレミスのアセットを監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco DNA Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

パートナープログラムを通じて Cisco DNA Spaces を使用すると、さまざまな業界のあらゆるパートナーアプリケーションに企業がアクセスできます。

Cisco DNA Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

記載されているサービスに加えて、Cisco DNA Spaces アプリの範囲は、世界的なパンデミックである COVID-19 によって生じるビジネス要件を満たすために拡張されました。拡張機能は既存のアプリケーションに基づいて構築されており、COVID-19 の特定の要件を満たすために新しいアプリケーションが追加されています。Impact Analytics、Location Analytics、行動メトリクス、Right Now などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネス拠点に及ぼす COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、特定の場所のデバイス密度に基づくルールを作成し、その場所の人数が特定の数または密度（エリアあたりの人数）を超えた場合に自動的に通知を受けられるようになりました。Location Analytics アプリには、エグゼクティブ サマリー レポートを組織内の同僚と共有する機能が追加されました。さらに、**行動メトリクス** アプリを使用して、個人またはグループのロケーションに関する COVID-19 ベースの傾向分析を実行できるようになりました。これにより、特定のビジネスロケーションを組織全体と比較したり、特定の業界と比較したりすることもできます。

Cisco DNA Spaces の Proximity Reporting アプリでは、影響を受けるデバイスの位置履歴やデバイス近接履歴をすばやく確認できます。ユーザー ID または MAC アドレスに基づいて、過去 14 日間の建物内におけるデバイスの位置に関するレポートが、他のデバイスとの近接度とともに生成されます。このレポートは、共有機能を使用してエクスポートまたは共有することもできます。同様に、検出と位置特定アプリには、デバイスを特定の数にクラスタ化して、ソーシャルディスタンスのガイドラインに違反している可能性のある領域を確認して報告する機能が追加されました。

セットアップや構成を含む、Cisco DNA Spaces の詳細については、『[Cisco DNA Spaces Configuration Guide](#)』を参照してください。

今回のリリースでの新機能

ロケーション分析

次の機能が Location Analytics アプリに導入されました。

- **[Share report]** : Location Analytics アプリに **[Custom Report]** を共有するオプションが導入されました。Cisco DNA Spaces ユーザーと Cisco DNA Spaces 以外のユーザーの両方とレポートを共有できます。Cisco DNA Spaces 以外のユーザーは、レポートにアクセスするために1回限りの登録を実行する必要があります。レポートにアクセスするために必要な権限がない場合は、管理者またはレポートを開始したユーザーにアクセス権をリクエストしてください。削除または取り消されたレポートにはアクセスできません。レポートを取り消すことができるのは、管理者または送信者のみです。
- **[Path widget]** : **[Custom Report]** に **[Path]** と呼ばれる新しいウィジェットが追加されました。パスウィジェットは、ロケーション間の訪問者の移動パターンを示し、同じ **[Network]** 内のさまざまなフロアまたはゾーンでの訪問の割合を表示します。カスタムレポートで、**[Path widget]** の任意のフロアまたはゾーンにカーソルを合わせると、正確な訪問数が表示されます。**[Network]** の下の利用可能なロケーションのみを使用してフィルタ処理することで、パス分析を表示できます。**[Path widget]** は、Cisco DNA Spaces ACT ライセンスアカウントのみで使用できます。

Right Now : 密度ルール

次の機能が **[Density Rules]** 機能に導入されました。

- **[Density Rule]** : **[Density Rule]** オプションでは、ビジネスロケーションに設置された Meraki カメラでキャプチャされた人数に基づいて、ビジネスユーザーへの通知をトリガーするルールを作成することもできます。
- **[Test Rule]** : **[Test Rule]** オプションを使用すると、設定された通知チャンネルをテストできます。ルールで設定されたメッセージは、設定された通知チャンネルを介して配信されます。

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

次の機能が Cisco DNA Spaces ダッシュボードに導入されました。

- **[Idle Timeout]** : Cisco DNA Spaces ダッシュボードにログインしているユーザーは、特定の期間だけアイドル状態を維持できます。20分間非アクティブな場合、そのユーザーはダッシュボードから自動的にログアウトされます。アイドルタイムアウトの5分前に通知が表示され、Cisco DNA Spaces アプリケーションが開いているブラウザウィンドウのタイトルが **INACTIVE: You will be logged out in 5 mins** に変わります。対応するウィンドウで実行されたアクションは、ユーザーのセッションを拡張します。

このリリースでの変更点

IoT デバイスマーケットプレイス

Cisco DNA Spaces ダッシュボードで [IoT Device Marketplace] タイルをクリックすると、IoT Device Marketplace アプリケーションに自動的にリダイレクトされます。この機能強化が行われる前は、IoT Device Marketplace アプリケーションにログインするにはログイン情報を再度入力する必要がありました。

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

Cisco DNA Spaces ダッシュボードには、次の変更が加えられました。

- Meraki サービス アカウント ワークフロー : [Connect via Meraki Login] または [Connect via Meraki API] を使用して Meraki に接続すると、[Enable Service Account] ウィンドウが表示され、[Continue with Service Account] オプションと [Continue without Service Account] オプションが表示されます。[Continue with Service Account] を選択すると、サービスアカウントに関する手順が Meraki の設定手順の一部として含まれます。
- Meraki の同期 : Meraki と現在同期されているユーザー数が、[Connect your Meraki] オプション ([Connect via Meraki Login] および [Connect via Meraki API Key]) の下に表示されます。
- [Setup] ウィンドウの機能強化 : [Connect WLC/Catalyst 9800 Directly] と [Connect Via Spaces Connector] の下の [Setup] ウィンドウからマップを管理できるようになりました。次の新しいリンクが導入されました。
 - [Import/Sync Maps] : [Detect & Locate]、[Asset Tracker]、および [IoT Services] とシームレスに連携するために、[Cisco Prime Infrastructure] または [Cisco DNA Center] マップをアップロードします。
 - [Map Upload History] : アップロードされたマップのリストを表示します。ファイル名、ソースタイプ、ステータス、およびその他の関連情報を表示できます。
 - [Manage Map] : [Map Service] アプリケーションに移動して、マップを管理します。
- キャプティブポータルのアセットアップロードの制限 : キャプティブポータルの [Stylesheet editor] > [Asset Library] に新しいアセットをアップロードする場合、添付ファイルごとにサポートされる最大ファイルサイズは 15 MB です。この機能強化が導入される前は、添付ファイルごとにサポートされる最大ファイルサイズは 50 MB でした。
- [Location Hierarchy] : [More Actions] メニューで、[Add Wireless Networks] オプションが削除されました。[Connect Wireless Networks] オプションは、[Go to Setup] オプションとともに追加されます。[Go to Setup] をクリックして [Setup] > [Wireless Networks] ウィンドウに移動し、ワイヤレスネットワークを設定します。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、x は任意の文字（a～z）、N は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

Cisco Bug Search Tool（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の注意事項

ここでは、Cisco DNA Spaces のこのリリースにおける未解決の不具合を示します。これまでのリリースで未解決で、まだ解決されていない不具合は、修正されるまで、今後のすべてのリリースに適用されます。

表 1: Cisco DNA Spaces の未解決の不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCvt93539	[Right Now] > [Visits by floor] セクションでは、フロア名がチャートの X 軸に表示されない。
CSCvu98859	新しい構成を適用すると、[Button Click] データや [Movement] データなどのテレメトリが 18 時間以上にリセットされる
CSCvv16880	ゲートウェイの展開ワークフロー中に、タイミングの問題により、AP が「needs config mode（設定モードが必要）」として誤って分類されることがある。
CSCvv28936	[Detect & Locate] で、Kontakt BLE デバイスをフィルタリングするオプションを提供する。

不具合の識別子	不具合の説明
CSCvv34216	コネクタが HA ペアで再起動すると、ControllerChannel と APChannel がコネクタ間で分割される
CSCvv64362	カスタム AP グループの GRPC とアプリホストを自動有効にするオプションを提供する
CSCvv91424	密度トリガーの数が多い場合、密度ルールレポートの最近のアクティビティにデータが表示されない

解決済みの問題

ここでは、Cisco DNA Spaces のこのリリースで解決されたバグを示します。

表 2: Cisco DNA Spaces で解決された不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCvv74810	読み取り専用の Cisco DNA spaces ユーザーがダッシュボードにログインすると、[Integrations] ハンバーガーリンクが表示されない。
CSCvw18656	[Map Service] : ユーザーが複数のマップファイルをアップロードしてもアップロードが失敗しない
CSCvu78949	ロケーション名に余分なスペースがあると、ロケーション階層にロケーションをインポートできない
CSCvv60285	ブラウザでページを更新すると、[Home] ページのアクティブな AP リンクが非表示になる
CSCvs79627	Meraki カメラ : ユーザーはカメラ以外のデバイスもインポートできる
CSCvu46143	ユーザーが以前に承諾した招待状を使用しようとしたときに、適切なエラーメッセージを表示する
CSCvv74806	[IOT Device Marketplace] アプリアイコンが、[Switch Apps] メニューに壊れた画像として表示される。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。